



議会だより

たかはる

第68号

令和元年 5月臨時会 (第2回)
令和元年 6月定例会 (第3回)



the most beautiful
villages
in japan



高原小学校運動会 5月21日



町鳥 (仏法僧)
フッコウソウ



町木 (たちばな)



町花 (みやまきりしま)

もくじ

- ごあいさつ、議会構成・・・P2～P3
- 6月定例会のあらまし・・・P4
- 一般質問・・・・・・・・・・P5～P11
- シリーズ「健康づくり推進」・P12

議長・副議長あいさつ



議長
温谷 文雄

去る4月に改選され、5月7日の臨時議会において議長に就任しました。今、高原町には多くの難問が山積しています。

少子高齢化、人口減少、医療費の高騰、各種産業の後継者不足、庁舎の耐震化、町立病院の慢性的な赤字等々……

いかにして、高原町を活性化させ、魅力ある高原町の構築に向けて議会も執行部も真剣に取り組まなくてはならないと日々考えています。

6月定例会の初日には約50名の傍聴者が来ていただきました。

また、一般質問も6人（新人3人含む）の議員から町長と執行部に対して政策等について活発に討論されました。

近年では、一番多い傍聴者であり、一般質問者も一番多かったと思います。

後日、宮崎日日新聞（6月8日「べぶん舌」より引用）にはこのような記事が載りました。

『傍聴者の熱気は議員や執行部にも影響を与え登壇した議員に感想を聞くと「背中を押してもらっているような感覚。」初めて傍聴したという女性からは「身近な話題を真剣に議論する様子に感動した。また来てみたい。』傍聴に来られた皆さん、ありがとうございました。

高原町議会は平成26年3月に議会基本条例を制定し、町民の皆様との対話を重視し、意見を聞きそれを町政に反映させる議会をめざしています。

3月議会では、高原町民の平均寿命や健康寿命が、全国や県平均より下回っていることから、議員発議による「高原町健康づくり推進条例」を制定しました。

今後も、町民の皆様のご意見をお聞きするため議会報告会や意見交換会を開催いたします。

ぜひ、町民の皆様にご会場にお越しいただき、ご意見を賜りたいと思います。



副議長
松元 茂春

5月7日の臨時議会において、副議長に就任しました。その責務の重さに身が引き締まる思いです。議長の補佐役として町政の推進及び議会の公正かつ円滑な運営にこれまでの経験を生かし、責任と役割を自分らしく精一杯果たして参りたいと思います。

さて、本町を取り巻く環境は毎年変化しております。厳しい財政状況の中、農林・商工業への振興対策、災害対策、福祉対策、少子高齢化対策など重要な課題が山積しており、これらの課題解決のために二元代表制の一翼を担う議会の果たすべき役割がますます重要になって参ります。

執行部と議会は、車の両輪にたとえられますように、執行部と議論しながら知恵を出し合い、住み良いまちづくりに取り組んで参ります。

今後とも、皆様の温かいご支援ご指導をお願い申し上げます。

新 高原町議会 委員会 等の構成

【5月臨時議会】

臨時議会が5月7日に開催されました。議長・副議長の選挙、各委員の選任があり高原町議会委員会等の構成が行われました。

総務経済常任委員会

委員長	反田吉己
副委員長	入佐廣登
委員	末永充
委員	中村昇
委員	温水文雄

文教厚生常任委員会

委員長	温水宜昭
副委員長	福澤卓志
委員	前原淳一
委員	陣圭介
委員	松元茂春

一般会計予算・決算常任委員会

委員長	松元茂春
副委員長	入佐廣登
委員	全議員で構成

議会運営委員会

委員長	反田吉己
副委員長	温水宜昭
委員	入佐廣登
委員	福澤卓志
委員	松元茂春

議会だより編集委員会

委員長	末永充
副委員長	前原淳一
委員	入佐廣登
委員	福澤卓志

都市計画審議会

委員	末永充
委員	中村昇
委員	反田吉己
委員	入佐廣登

西諸広域行政事務組合

委員	中村昇
委員	入佐廣登
監査委員	反田吉己

霧島美化センター事務組合

委員	末永充
委員	温水宜昭
委員	福澤卓志

高原町監査委員

監査委員	陣圭介
------	-----

※常任委員会は、議会の予備的審査機関であって、合理的・能率的に調査し、審議するためには、部門別に委員会を設け文料的に審議することが最も効率的であることから**総務経済常任委員会・文教厚生常任委員会及び一般会計予算・決算常任委員会**の3つの委員会を設置しております。



議会だより編集委員会

6 月 定 例 議 会 あ ら ま し

令和元年6月議会は、6月5日から11日までの7日間の日程で開催されました。

今定例会は、報告1件、議案4件、陳情4件の合計9件が審議されました。

うち、「一般会計補正予算（第1号）」は一般会計予算・決算常任委員会での審査を経て、本会議で全体審議されました。

そのほか、発議1件が審議されました。

議案第34号…令和元年度 高原町一般会計補正予算（第1号）の主な内容

○総務費

（総務管理費）

地方創生推進交付金

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **420万円**（国庫・県支出金及び一般財源）

○民生費

（社会福祉費）

プレミアム付商品券の発行事務費

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **355万4千円**（国庫支出金）

（児童福祉費）

幼児教育・保育無償化に係るシステム改修費

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **183万5千円**（国庫支出金）

○衛生費

（保健衛生費）

風しんの抗体検査及び予防接種に伴う費用

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **231万円**（国庫支出金及び一般財源）



○農林水産業費

（農業費）

農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **158万1千円**（県支出金及び一般財源）

需要に応える宮崎米生産体制整備事業補助金

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **207万4千円**（県支出金及び一般財源）

○商工費

（商工費）

御池松の港野営場と御池皇子港の進入路整備

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **5,932万6千円**（県支出金及び町債・一般財源）

○教育費

（小学校費）

高原小学校外壁改修工事と監理委託費

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **3,184万4千円**（国庫支出金及び町債・一般財源）

（社会教育費）

下後川内自治公民館備品購入費

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **220万円**（一般コミュニティ助成事業助成金）



一般質問

町の考えを問う

町立病院のあり方について



前原 淳一議員

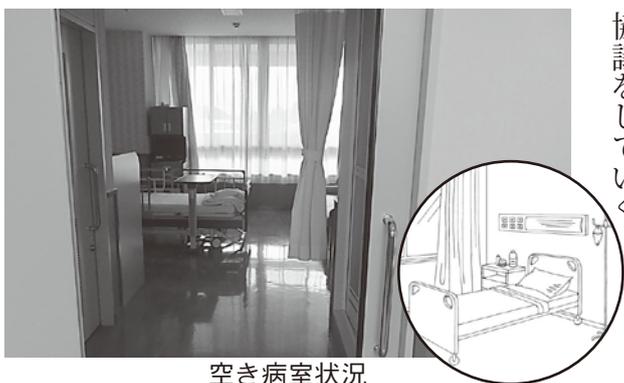
問 町立病院に対する町民の声についてどう受け止めているか。

答 病院運営において重要と認識している。医師をはじめ全スタッフが真摯に受け止め、信頼関係の構築に努める。

問 検討会議においては町民代表を交えて行うべきでは。

答 町民の声を聞きながら

協議をしていく。



空き病室状況

問 患者減少など原因究明のための協議はされているのか。

答 病院において高原病院経営管理会議を設置し月一回経営分析などを行っている

る。さらに、平成31年4月より病院のあるべき姿の検討を始めている。また、将来の選択肢についての検討を行うこととしている。

問 インターネットによるユニークな医師募集をしているところもあり成果を上げています。

答 参考にしていく。

問 医薬品の価格交渉に問題はありますか。

答 5%から50%の値引きで仕入れている。

○特定健診について

問 目的を拡大し血液検査を強化すべきと考えるか。

答 本町における医療費分析を行った上で慎重に検討

する。

問 膵臓等の消化器系、子宮頸がん等の陽性率は70%であるが。

答 全国で実施しているのは7市町村と少数である。現在のがん検診等も踏まえ総合的に判断し、協議していく。

○高齢者等交通・買い物弱者対策

問 身体障害者が利用するバス停に椅子や屋根を。

答 宮崎交通では設置の予定はない。設置には4m以上の歩道とバス進入スペースが必要で道路改良に合わせた協議が必要。民間の駐車場等活用できる施設等がないか調査していく。



問 小回りのきく車で、また、電話一本で予約送迎をしてくれる仕組み作りを。

答 現在の公共交通システムには多くの改善点があり、今後住民ニーズに対応できるようにNPOの活用も含め検討し、住民の要望に応えられるよう整備していく。





病院の早期経営改善を！



陣 圭介議員

○子育て支援

問 幼保無償化に伴う給食費の取り扱いは？

答 副食費を無償化する。

問 子どもの貧困に関する実態調査につき、手法や調査内容、専門家や地元根拠とした方との連携は？

答 子育て世帯を対象に、学校経由で行い、子ども・子育て会議の委員を中心に要対協の専門機関の方と連携する。



○病院経営

問 医師、看護師の現体制の適性は？

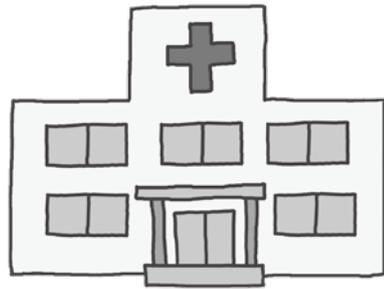
答 常勤医師募集は厳しい。経営改善の専門家と、病院のあるべき姿を検討し始めた。将来の選択肢を早期にとりまとめる。

問 救急患者の受け入れ実績は？

答 年間120名。うち時間外が84名。

問 受け入れ拒否がある。医師の救急対応ができないということか？

答 確認し、分析する。



問 非常勤医師勤務による各種数値は？

答 当直を非常勤医師で賄った日数74日。1日の平均報酬14万1,823円、常勤換算10万1,677円。勤務日数のべ316日。人件費等の費用の合計1億3,199万5,415円。

問 医師の勤怠は町長自身把握できているか？

答 細かい状況まで把握していない。面談で話を聞く程度。

問 看護師の入院部門における新規採用の必要性は？

答 72時間ルールのクリアには24名の夜勤できる看護師が必要。現在31名中27名の体制。

(意見) 人員補充は業務改善をし尽くした上での問題。安易に72時間ルールを持ち出すべきではない。

○環境保全

問 紙オムツの保育施設からの持ち帰りは保護者には負担。処分費用助成等の考えは？

答 現時点では、公費負担は難しい。



○オストメイト対応トイレ

問 オストメイト対応トイレは、町内に3箇所しかない。洗浄器具等を備えたトイレを増やすべきではないか。

答 公共施設に段階的にオストメイト対応トイレを設置する。



オストメイト(人口肛門、人工膀胱)対応トイレ



学校教育について



福澤 卓志議員

○教育に関する質問

問 複式学級に対する対応は。

答 本町小学校3校、中学校1校が複式学級となっており。その解消策として町費負担職員を雇用し、各学年に1人担任を置く単式の授業を行うなどの対策を講じている。

○通学区域について

問 通学区域の見直し及び規制緩和に関しての考えがあるか。

答 学校教育法の規定によ

り定めたものであるが、これまで柔軟な対応を行ってきた。今後も就学相談に対応していく。

問 2020年プログラミング教育の実施に伴う本町の教育環境（Wi-Fi環境、タブレット等の教育機器）の用意があるか。

答 パソコン及び無線LANの更新時期にあるので、タブレットやWi-Fi環境の整備等を進めていく。



○空き家町営住宅の活用について

問 子育て世代に対する住居補助、斡旋等の支援ができないか。

答 公営住宅法の規定にある住宅に困窮する低所得者の居住の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする観点から、子育て世代への住宅補助や斡旋等は難しい。

○町立病院の経営に関して

問 「国民健康保険高原病院の改革プラン」の改革が進んでいるか。

答 病院の経営改革を通じ、町民に必要な医療提供体制を確保するとともに、持続可能な病院経営を目指し取り組みでいく。

問 職員の意識改革への取り組みは。

答 安心安全な医療を提供できるように院内に各種委員会を設置しており、勉強会

の実施と看護部では接遇・倫理・福利厚生委員会を設置し、適正な職場環境の保持に努めている。



広原十文字線交差点

○危険交差点の改良について

問 広原十文字線交差点の状況は。

答 現在、「理想的な交差点改良計画案」を作成中であり、関係機関との協議を今後進めていく。



公共施設検討委員会開催を早急に！



末永 充議員

○通勤・通学の安全対策について

問 県道西麓小林線と町道二葉・並木線との交差点における交通事故の発生が多く、一旦停止違反者も多い。安全対策をどう講じていくのか。



県道西麓小林線と町道二葉・並木線の交差点

答 現地調査を行い危険性がある箇所については、小土木事務所と協議をおこなう。

○道路構造の技術的基準について

問 県道と町道の交差点、条例で定められている「町

道」の構造の技術的基準に沿った構造であるのか。

答 現地調査を実施し、小土木事務所と協議をおこなう。

○公共施設整備計画について

問 高原町民体育館、旧高原中学校体育館は、施設の老朽化が進んでいる。今後の方向性は。

答 一体的な建替え計画の基で、優先順位を決め年次の進めていく。今後、公共施設検討委員会を設置し、検討していく。

○宮崎国体について

問 2026年に第81回国民体育大会が宮崎県で開催される。高原町では、アーチェリー種目が開催される計画であり6年後には、リ

ハーサル大会、デモンストレーションスポーツ大会の計画がある。具体的対策をどう講じていくのか。

答 内部組織体制の強化や国・県の関係機関との協議



を行い、各関係団体に協力等をいただきながら準備を進める。

○クラブハウス計画について

問 地域スポーツの普及・振興を図るために、補助事業を活用した総合運動公園にクラブハウス設置の考えはないか？

答 補助事業は、厳しい状況でありスポーツ団体と協議したい。

国内最大のスポーツの祭典

2026

宮崎国体

47年ぶりに国体を開催

第81回 国民体育大会

国民体育大会(国体)は2026年第81回大会以降、国民スポーツ大会(国スポ)へと改称されます。
お問い合わせ先: 第81回国民体育大会宮崎県大会事務局(宮崎県総合運動公園内) TEL: 0985-26-019 FAX: 0985-24-1723



子育て支援に出生祝い金を



中村 昇議員

○子ども医療費の窓口負担の無償化を



問 本町では子どもの生まれる数が年々減少し、平成5年の105人から平成29年には41人となっている。県内では10市町村が、出産祝い金を支給している。本町でも少子化対策として出生祝い金の支給を。

答 他の支援策と併せて検討したい。



問 本町と同じく子ども医療費を中学卒業まで助成しているところで、綾町など6市町村が窓口負担なしとしている。ある自治体の子どもの「生活実態調査」では、過去一年間に子どもを医療機関に受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった家庭のうち、困窮家庭では経済的理由が20・7%に達しているとの報告がある。生活に困窮する特に多子世帯など窓口負担は重いものになっている。窓口負担の無償化を。

答 他の支援策と併せて検討したい。

○健康づくり推進条例について



問 3月に議会提案で健康づくり推進条例が可決された。その前文で町民一人ひとりが健康に関心を持ち、積極的に健康づくりに取り組むなどとしている。町ではこの条例制定を受けて、町民自らの問題としてその自覚を促すためにどのような

に周知を図るか。

答 看板を活用し、視覚に訴えた周知を図りたい。また町広報誌のほほえみ館通信欄に「自分の健康は自分で守りましょう」等の標語を掲載する。

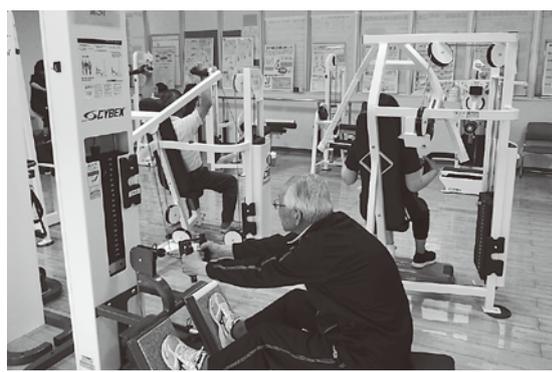
問 どのように町民の健康づくりを推進するのか。

答 現在、保健・医療・福祉・介護分野において自殺対策協議会、献血推進協議会、歯科保健推進協議会、国保運営協議会、西諸地域在宅医療介護連携推進協議会を設けており、それぞれの分野で検討を重ね連携しながら一体となった健康づくりを積極的に推進していきたい。

問 「健康づくり条例」の制定に関するアンケート調査で「運動をほとんどしていない」が半数以上あり、スポーツ振興を図るべきでは。

答 今後、計画策定をすす

め、スポーツの普及推進に努める。



○高齢者の交通手段の確保を

問 デマンド交通はバス並みの料金でタクシーを利用できることで高齢化が進む過疎地で広がっている。町内でも一部運行されているが、町内全域でデマンド交通を。

答 地域交通としてはデマンド交通があつていと思う。今後、どういふ方法が良いのか検討する。



幸せを実感できる町づくりの推進を！



温水 宜昭議員

○町長の政治姿勢について

問 町長のたかはる再生構想に対する自己評価と今後の課題について。

答 就任後1年7ヶ月が経過しているが、再生構想に係る自分の評価及び進捗状況は約3割程度と認識している。残された任期中に公約の実現、多種多様の行政ニーズが叶うよう努力していく。



○自然災害等が予想される不測の事態に備えた緊急時の対応について



問 高齢者の一人暮らし世帯や障がいをもって在宅している要配慮者の災害時ににおける支援は。

答 高原町避難行動要支援者支援制度実施要綱を制定している中で、避難行動支援者の名簿も作成しており、地域住民や自主防災組織、民生・児童委員、ボランティア団体との協力体制を構築し支援していく。

○インフラ復旧への町内業者の対応等について。

問 インフラ復旧への町内業者の対応等について。

答 本町は、民間の各種協会や業者、又は広域での連携協定を結んでおり、本町単独での対応が困難な場合は、可及的、速やかに対応が可能となるよう準備している。

○今後の町内業者育成への課題と取り組みについて。

答 各産業において、高齢化や人手不足が進行しており、災害復旧を担う町内建設等業者の減少を食い止めるためにも国や県と連携を取りながら支援をしていく。

○県道有水・高原線の今後の整備計画について

問 県道有水・高原線の改良が一部進んでいない箇所

があるが現状と今後の見通しは。

答 県道有水・高原線の改良については、平成26年度から令和2年度までの7ケ年で、総事業として3億5千万円が予算化されている。

現在、上後川内納骨堂前の一部区間が整備途中であるが、地域住民の交通安全確保のため、早期完成に向けて小林土木事務所と協議する。



県道有水・高原線

令和元年 第2回臨時会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			末永充	陣圭介	前原淳一	中村昇	反田吉己	入佐廣登	温水宜昭	福澤卓志	松元茂春	温谷文雄
承認第1号	専決処分について（専決第1号） 高原町税条例等の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第2号	専決処分について（専決第2号） 高原町企業立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第3号	専決処分について（専決第3号） 国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第4号	専決処分について（専決第4号） 平成30年度高原町一般会計補正予算（第9号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第5号	監査委員の選任について	同意	○	除	○	○	○	○	○	○	○	—

令和元年 第3回定例会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			末永充	陣圭介	前原淳一	中村昇	反田吉己	入佐廣登	温水宜昭	福澤卓志	松元茂春	温谷文雄
報告第1号	平成30年度高原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第32号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	—
議案第33号	高原町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	令和元年度高原町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	令和元年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第8号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書（案）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

健康づくり推進!

シリーズ①



平成31年3月の定例会にて「高原町健康づくり推進条例」が制定されました。町民が健康であることが、まちづくりの基本です。

はじめよう、まずは体を動かすことから…

グラウンドゴルフ「たかはるヘルス」



高原総合運動公園ふれあい広場にてグラウンドゴルフをされている「たかはるヘルス」を紹介いたします。毎週月・金曜日の2回健康づくりを行っています。5班の当番制で準備と東屋、トイレの掃除を行います。そのあと全員でラジオ体操を実施し、試合形式で約2時間グラウンドゴルフを行っています。休憩時には、お茶を飲みながら世間話がはずみます。63歳〜92歳31名の方々がホールインワンを目指して頑張っています。

いきいき百歳体操



地域での「いきいき百歳体操」は、高原町内で23地区ほどあります。個人の家で実施されている地域が多数あります。上麓区の入佐典子さん宅では、12名の方々が毎週火曜日に「生き生き体操、かみかみ体操」が和やかな雰囲気で行われています。平均年齢77歳、いつまでも元気で願う気持ちになると話されていました。認知症予防として、体操や趣味を楽しむ「通いの場」を「共生」しておられます。

編集後記



◇6月町議会一般質問は、約50人の町民の方々が傍聴され、傍聴席からの熱気が伝わる中で開会いたしました。◇新時代の幕開け「令和」の意味は、人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つ梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますようにと万葉集の歌からとり入れられています。◇町民が安心して生活できる時代になることを祈らずにはいられません。協働のまちづくりの一躍を担う議会として全力投球いたします。◇町民の皆様「議会だより」が親しまれ身近に感じていただけるものになるように編集委員一同努力して参ります。

末永 充